

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 24 年 2 月 21 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	岡山県周辺のスギ・ヒノキ材の樹皮を熱源とする木材乾燥用バイオマスボイラー導入事業	
承認番号	JCDM-PJ0043	
排出削減事業者名	牧野木材工業株式会社	
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 株式会社トンゴ	
事業実施場所	牧野木材工業株式会社 本社工場（岡山県真庭市草加部 288-8）	
事業の概要	木材乾燥用 A 重油焚きボイラーから木質バイオマスボイラーに転換することにより、重油使用量や CO2 排出量を削減するとともに、県内周辺のスギ間伐材等の有効活用を推進する。	
排出削減量の計画	286tCO2/年（事業実施期間合計 1,310 tCO2）	
国内クレジット認証期間	事業開始日	2008 年 4 月 1 日
	終了予定日	2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新	

2. 本実績確認の対象期間

2010 年 5 月 1 日～2011 年 12 月 31 日（第 2 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	798tCO ₂ (2010年5月1日～2011年12月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、既存重油ボイラーを木質バイオマスボイラーへ更新する事業が実施されていることを事前審査の現地訪問、及びバイオマスボイラー給水量等の実績により確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるバイオマスボイラー給水量等の確認により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、工事終了確認書や関係者への質問により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、バイオマスボイラー給水量、ブロー量、蒸気圧、給水温度をもとに算定・集計されていることを確認した。 2) モニタリング結果に応じて変動する活動量の正確性については、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、給水量等は日報及び月報の確認により、事業実施後補機の電力使用量はボイラ稼働日数記録の確認により、記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。 3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、

	<p>排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後輩出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) 事前申請時では事業実施後排出量としていたバイオマスボイラーに係る補機の排出量を、リーケージ排出量とする軽微な変更を確認している。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2010 年 5 月 1 日～2011 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー量について、熱量換算 9,300.6GJ であることを確認した。